



11/23 漫画界の巨匠が共演 (吉備川上ふれあい漫画美術館)

「平松伸二 vs 高橋陽一トークライブ」(川上地域まちづくり協議会主催)が開催され、県内外から多くの漫画ファンが集まりました。高梁市出身の平松さんと師弟関係にある高橋さんが共演。漫画家としてデビューしたころや二人が出会ったころの思い出をユーモアたっぷりに話しました。観客へ似顔絵のプレゼントもあり、大いに盛り上がりました。平松さんは、「ドーベルマン刑事」、高橋さんは、「キャプテン翼」が代表作です。

11/25 秋空の下で爽やかに交流 (神原スポーツ公園)

「第3回高梁市子ども会交流会」(市主催)が開催され、市内6つの子ども会から40人が参加しました。コミュニティ・スポーツクラブピオーネと吉備国際大学の学生ボランティアの指導のもと、参加者はボールの代わりにフリスビーでドッジボールを行う「ドッチビー」や、数字を書いた的をめがけてフリスビーを投げる「ディスクゲッター」といったニュースポーツを楽しみながら交流を深めました。



11/30 より積極的に生きていく (総合文化会館)

ドラマ「車いすの花嫁」の著者、鈴木ひとみさんを講師に迎え「平成24年度 人権啓発講演会」(市・教育委員会等主催)が行われました。鈴木さんは、モデルとして活躍中の昭和59年に交通事故で頸椎を損傷し、車いすの生活になりました。「体よりも心のリハビリが大変。でも自分のことを必要だと言ってくれる人の存在で立ち直ることができた。心が回復したことで、事故前よりもすべてのことに対して積極的になれた」と自らの経験が話されました。

▼今月の表紙は紺屋川のイルミネーション。毎年この季節になると町のあちこちこちらに、きらびやかなイルミネーションが登場します。先日、カメラが撮影しているとき、地域の人たちが「寒いのに大変だね」「風邪をひかぬようにね」と声を掛けてくれました。雪が舞う寒空の下で、人の心とイルミネーションの光が僕の心を温かくしてくれました。(KY)

▼朝の気温が氷点下になる日が多くなってきました。私が住む地区でもついに道路に積雪が。雪には慣れているつもりでしたが、坂道でスリッパで動けなくなりました。何事にも慣れ過ぎてしまったのは失敗のもと。広報紙も新しい発想と感覚を取り入れながら、作成していきたいと思えます。(KH)
▼千葉県へ研修に行きました。全国各地から集まった公聴広報マンとともに、施設内に9日間箱詰め監視状態に！ストレスがたまりまくりでしたが、得るものも多く、たくさんの方人をつくるのができました。勉強したことが広報紙を通じて皆さんに伝わればいいんです。いやいや、伝わるように頑張りますので、これからも広報紙を見てください。(TK)



編集後記

カメラあらから

Camera A la carte

まちの出来事



11/11 心の触れ合いを大切に (成羽総合福祉センターほか)

毎年恒例となっている「なりわ祭り」(同実行委員会主催)が行われました。今年のテーマは「成羽に生まれ！子どもたち」。メイン会場を成羽総合福祉センターに移し、新商品の備中神楽弁当や備中牛バーガーをはじめ、地域の特産品などを販売する店が軒を連ねました。また、ステージイベントとして行われたうらじゃ踊りでは、来場者も踊りの輪に加わり、心と心で触れ合っていました。

11/11 風を集め、風を起こすまちづくり (うかん常山公園)

石の風ぐるまがあるうかん常山公園で16回目となる「風ぐるまフェスタ2012in うかん」(同実行委員会)が開催されました。会場では日本海から太平洋までの広い範囲から海の幸、山の幸を集めた特産品の販売やステージイベントがあり、家族連れらでにぎわいました。ステージでは、ダンスショーや仮面ライダーショー、お笑いタレントのAMEMIYAさんのミニライブなど、多彩な催しが行われ、会場は盛り上がっていました。



11/20-21 友好都市の現状を学ぶ (市役所ほか)

友好都市縁組を締結している茨城県筑西市の吉澤市長と堀江議長をはじめとした17人の議員団が市を訪れました。筑西市とは、備中松山藩主の水谷勝隆が元下館藩主であったことが機縁となり、友好都市として交流が図られています。訪問団は、市内施設の視察を行うとともに、お互いの市の現状や取り組みなどについて情報交換を行い、意見を交わしました。